

シリーズ「アメリカン・ディアスポラ」第6回

アメリカ大陸の基層には、移動性が組み込まれている。「アメリカン・ディアスポラ」シリーズでは、アメリカ大陸を移動・還流する人々に焦点をあて、主要な受け入れ側である北米とともに、送り出し側のラテンアメリカの双方の視点から、多様なディアスポラによる社会変化について考えてみたい。

アメリカーメキシコ間の 非正規移民問題

過去20年間の政策と 社会的反応の変化をたどる



Avital Bloch

コリマ大学 教授 社会研究センター 所長

本講演では、メキシコからアメリカ合衆国への非正規移民問題に対する、1990年代から現在までの政策の変遷と、同問題に対する社会的反応の変化をたどることで、ますます複雑化する国境地帯の諸相について考察します。合衆国側からの視点としては、連邦政府、国境地帯の州政府の政策だけでなく、非正規移民の入国を減らし、国外追放の数を増やすために、数々の民間団体が繰り広げる活動について説明します。一方、メキシコ側の視点として、非正規移民問題が国境地帯に暮らすメキシコ人にもたらしている、人道的、経済的、法的圧力についても分析します。

日時： **12** 月 **2** 日 (金)

17:30-19:00

会場： **博遠館 212** 番教室

来聴歓迎・予約不要
英語講演/日本語通訳付

同志社大学
グローバル・スタディーズ研究科

tel. 075-251-3930
e-mail. ji-gs@mail.doshisha.ac.jp